

OPINION

中部経済新聞

ナビゲーター

私はザンビアの首都ルサカでIT会社を経営するディレクターです。昨夏JICAの「企業経営者のための経営能力向上」研修コースに参加し、今年1月に3回目のフォローを終えました。研修終了時のアクション・プラン(行動計画)に関するその後の取り組みをお知らせします。

日本への期待 世界各地から

其 83

日本で学んだ中小企業の競争力強化策

果、社員の能力向上につながる、離職が目立つこと。これは、人事管理や教育の担当者が適切でないためです。次いで教育方針は明確に定められていたものの、いつ頃からか徹底されなくなっていたこと。最後にマーケティング・販売部門が古いウェブサイトで既存の顧客に頼りすぎて、事業成長が滞っていたこと。これらへの対策として、以下のように研修終了時に要約しました。

ザンビアから

社員の能力向上につながる要望に込める。事業拡大だけでなく、このような配慮が社員にやる気向上につながる。 (2) 教育訓練方針を改善して社内周知し、社内教育訓練機関を設立する。既存のスキルを引き出し、リフレッシュするだけでなく、社員の自信と士気向上につなげる。 (3) 新たなマーケティング・販売戦略を策定する。内容が古くなったウェブサイトを更新し、顧客訪問とソーシャルメディア、オンライン・マーケティング手法の活用を

組み合わせる。 昨年11月の時点でもその進捗(しんちよく)を報告しましたが、その後についてお伝えします。 (1) サービス部門を担当する管理職が人事管理を兼任することになりました。とて教育訓練の導入には克服するべき課題があり、私たちは顧客対応を兼務していたため進展が遅れぎみでした。社外から教育担当者を一入雇い、負荷を分散しました。日営業【シアカコマ・リラミ・タ イタス(タイト)、ルーム中産連】 (月曜日に掲載)

ただ、ザンビアの中小企業が共通して抱える財務上の問題は、支援者が見つかっても高金利になることです。日本にお願いしたいのは資金面で

最後になりますが、関係者の皆さまには、この素晴らしい機会を提供していただいたことに感謝いたします。日本の文化からカイセンに至るまで多くを学ぶことができました。食べ物、旅行も含めて日本の良い面を見聞き、今後の生活面でも多くを得ることができました。